

計量社会科学（経営政策科学）

2017.4.11

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部

清水 剛

e-mail: tshimizu@waka.c.u-tokyo.ac.jp

内容

この授業では、かつて日本企業に見られ、現在でもある程度影響を残している制度や仕組み、すなわちいわゆる「日本型企业システム」というものを取り上げ、それがどのようなものであったか、どのような論理に従って動いているかを考え、そこから企業というものが一般にどのような仕組みに従って動いているかを考えるとともに、日本企業の未来についても考えていく。

1990年代初頭のバブル崩壊後、日本企業はかつての「日本型企业システム」に対する自信を失い、自分たちの企業においてどのような制度や仕組みを作り、動かしていけばよいかということを探求し続けてきている。そのようなことを考える際に必要となるのは、まずかつて日本企業が持っていた仕組みを分析し、その強み、弱みを冷静に分析することだろう。また、このようなことを考えることは、単に日本企業のみならず、アメリカ企業やドイツ企業、あるいは韓国企業や中国企業を考える際の良い土台を提供するであろう。

本講義の最終的な目的は、いわゆる「日本型企业システム」の検討を通じて、日本企業、あるいは一般に企業というものの制度・仕組みやそこで起こっている現象について考える視点を提供することにある。

教科書・参考書

教科書は使用せず、自作のテキストを使用する。このテキストそのものは、何回かに分けてこの授業のWebサイト

<http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~ctshimiz/keieiseisaku/index.html>

にアップロードされる(昨年度のものがまだアップされているので、そちらも参照してほしい)。該当の回についてプリントアウトして持参すること。そうならないように努力するが、まれにアップロードが前日(月曜日)になることがあるので注意してほしい。

なお、一般的な経営学の教科書としてとりあえず2つを挙げておく。
高橋伸夫『経営の再生』第4版, 有斐閣, 2016。
伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門』第3版, 日本経済新聞社, 2003。

内容

内容的には以下のようなものになるが、予定には変更がありうる。

1. イントロダクション
2. 企業システムとは何か？ 全体像の把握
3. 雇用システム
4. 金融システム
5. ガバナンス・システム
6. サプライヤー・システム
7. 市場システム
8. 日本型企业システムとは何だったのか？
9. 1990年代における企業システムの変化
10. 終わりに

成績評価

成績評価は期末試験による。

その他

今期のオフィスアワーは火 13:00-14:30 の予定。この時間に研究室（2号館 6階 602A号室）を訪れる場合には予約は必要ない。ただし、予告なく不在にする場合がある（会議等のため）ので確実に会うためにはメールで連絡したほうがよい。それ以外の時間に研究室に来る希望がある場合にはあらかじめメールで予約を取ること。

5/23, 6/20 については海外出張のため休講。

平成 26 年以前入学者は「経営政策科学」の授業科目名で履修すること。